平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	水道事業（収益的収入及び支出）

所管課	501	水道局総務課	（水道局）

宇陀市水道事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款		
項		
目		
細目		

事業の目的

水道法に基づき、水道事業を実施。
利用者に安心、安全、安定した飲料水の供給を目指して施設の管理運営を実施する。

根拠条例等	水道法第15条　宇陀市水道事業の設置等に関する条例
総合計画	基本計画　第3章　第4節　上下水道の整備

H30年度事業の概要

安心・安全・安定した飲料水の供給事業を行う。

収益的収入及び支出予算額

収入予算額		1,166,500千円
内訳	上水	504,389千円
	簡水	662,111千円
支出予算額		1,166,500千円
内訳	上水	485,772千円
	簡水	680,728千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

経費節減を図りながら、未普及地域の解消と水道水の安定供給を目指し経営を行っていく。
平成29年度より水道事業として上水道事業と簡易水道事業を統合している。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	183,974
一般財源	982,526
H30予算額	1,166,500
H29 当初予算額	1,171,000
H29 現計予算額	1,171,000
増減額	▲ 4,500

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	574,256	1,171,000
従事職員数【人工】		
人件費（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む（千円）	574,256	1,171,000
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	年間総配水量	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	164.5 単位 万㎥	294.0 単位 万㎥
単位当たりコスト　（円）	3,490,918	3,982,993

特定財源の状況

一般会計繰出金　183,974千円

備考

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	水道事業（資本的収入及び支出）

所管課	501	水道局総務課	（水道局）

宇陀市水道事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款		
項		
目		
細目		

事業の目的

水道法の規定に基づき、水道事業を実施。
水道水の安定供給を目指して整備工事を実施。

根拠条例等	水道法第15条　宇陀市水道事業の設置等に関する条例
総合計画	基本計画　第3章　第4節　上下水道の整備

H30年度事業の概要

水道事業を行い飲料水の供給事業を行う。

資本的収入及び支出予算額		
収入予算額		283,457千円
内訳	上水	32,262千円
	簡水	251,195千円
支出予算額		511,712千円
内訳	上水	118,358千円
	簡水	393,354千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

事業により、水道水の安定的な供給と未普及地域の解消。
水道法の規定に基づき、水道事業を実施。
水道水の安定供給を目指して整備工事を実施。
平成29年度より水道事業として上水道事業と簡易水道事業を統合している。

財源の内訳	（単位：千円）
分担金	25,482
使用料	
国　費	40,000
県　費	16,090
市　債	63,500
その他	138,385
一般財源	228,255
H30予算額	511,712
H29 当初予算額	570,500
H29 現計予算額	585,500
増減額	▲ 58,788

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	234,120	590,271
従事職員数【人工】		
人件費（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む（千円）	234,120	590,271

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	給水戸数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	5,740	単位	戸	10,770	単位	戸
単位当たりコスト　（円）	40,787			54,807		

特定財源の状況

分担金	11,826千円
工事負担金	13,656千円
国庫補助金	40,000千円
県補助金	16,090千円
企業債	63,500千円
出資金	30,000千円
一般会計補助金	108,385千円

備考

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	玉立赤瀬地区水道事業

所管課	502	水道局施設課	（水道局）

宇陀市水道事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款	1	資本的支出
項	1	建設改良費
目	2	水道建設事業費
細目		

事業の目的

東榛原地区（赤瀬・額井・山辺三）の一部高所地区へ水道の供給を行う給配水管路工事後の舗装復旧を行う。

根拠条例等	水道法第15条
総合計画	基本計画　第3章　第4節　上下水道の整備

H30年度事業の概要

［玉立・赤瀬地区］
・ 舗装復旧工事　L＝1,500m　A＝5,500㎡

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

給水区域を拡張することにより生活環境の改善、公衆衛生の向上と併せて、安全で安心して飲める水を安定して供給できる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	20,000
その他	
一般財源	4,000
H30予算額	24,000
H29 当初予算額	34,000
H29 現計予算額	111,120
増減額	▲ 10,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	127,195	111,120
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	128,795	112,720
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	実施済事業費累計／総事業費（520,000千円）	
活動指標の実績(見込)	60.7 単位 %	82.1 単位 %
単位当たりコスト　（円）	2,121,829	1,372,960

特定財源の状況

企業債　20,000千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］
(2)水道給水区域の適正化

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	松井地区水道事業

所管課	502	水道局施設課	（水道局）

宇陀市水道事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款	1	資本的支出
項	1	建設改良費
目	5	水道建設事業費(簡水)
細目		

事業の目的

松井地区（下芳野・宇賀志）への水道の供給を行う給配水管路工事後の舗装復旧を行う。

根拠条例等	水道法第15条
総合計画	基本計画　第3章　第4節　上下水道の整備

H30年度事業の概要

［菟田野下芳野・宇賀志地区］
・ 舗装復旧工事　L＝1,500m　A＝6,000㎡

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

給水区域を拡張することにより生活環境の改善、公衆衛生の向上と併せて、安全で安心して飲める水を安定して供給できる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	20,000
H30予算額	20,000
H29 当初予算額	12,000
H29 現計予算額	103,100
増減額	8,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	81,959	103,100
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	83,559	104,700
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	実施事業費累計／総事業費（2,827,374千円）	
活動指標の実績(見込)	89.6 単位 %	93.2 単位 %
単位当たりコスト　（円）	932,578	1,123,391

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］
(2)水道給水区域の適正化

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	田原地区水道事業

所管課	502	水道局施設課	（水道局）

宇陀市水道事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款	1	資本的支出
項	1	建設改良費
目	5	水道建設事業費(簡水)
細目		

事業の目的	田原簡易水道地区（政南6大字）への水道の供給を行い、安定した水量、安全な水を確保し、生活基盤の改善を図る。
根拠条例等	水道法第15条
総合計画	基本計画　第3章　第4節　上下水道の整備
H30年度事業の概要	［大字陀政南6大字地内］ ・給配水管工事　φ150・φ100・φ75・φ50 L＝3,500m　給水戸数32戸 消火栓　3基 ［大字陀守道地内］ ・舗装復旧工事　L＝1,000m　A＝3,000㎡
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	給水区域を拡張することにより生活環境の改善、公衆衛生の向上と併せて、安全で安心して飲める水を安定して供給できる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	40,000
県　費	
市　債	39,000
その他	30,000
一般財源	21,000
H30予算額	130,000
H29 当初予算額	60,000
H29 現計予算額	109,000
増減額	70,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	58,944	109,000
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費（人工×8,000千円）	1,600	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	60,544	110,600
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	実施事業費累計／総事業費（1,023,675千円）	
活動指標の実績(見込)	69.8 単位 %	79.7 単位 %
単位当たりコスト　（円）	867,393	1,387,704

特定財源の状況	
国庫補助金	40,000千円
企業債	39,000千円
出資債	30,000千円

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト ［生活基盤の整備］ (2)水道給水区域の適正化